

# 事業報告書

## 1 法人の概要

### (1) 建学の精神

伝統的治療技術の伝承と普及のため、東洋医学教育の確立と学術の振興を以て国民医療に資する。

### (2) 学校法人の沿革

年月	区分	沿革
1926. 10	東京校	「東洋温灸医学院」創立
1931. 10	東京校	私立学校令により「東京高等鍼灸医学校」として認可
1948. 12	法人	文部省令により「財団法人東京高等鍼灸医学校」として認可
1949. 9	東京校	厚生大臣により鍼灸マッサージ師養成施設として「東京高等鍼灸学校」認可
1954. 3	熱海校	「東京高等鍼灸学校熱海分校」設立
1955. 5	熱海校	「呉竹マッサージ学校」と改称
1956. 11	法人	東京都知事より、財団法人を改組し「学校法人呉竹学園」として認可
1973. 9	熱海校	「呉竹鍼灸専門学校」と改称
1976. 9	東京校	専修学校（専門課程）として認可され「東京鍼灸柔整専門学校」と改称
1976. 9	熱海校	専修学校（専門課程及び高等課程）として認可
1986. 4	東京校	「東京医療専門学校」と改称
2002. 4	横浜校	熱海校を新横浜に位置移転、「呉竹鍼灸柔整専門学校」と改称
2009. 4	大宮校	「呉竹医療専門学校」設立
2014. 3	全校	設置する全課程において「職業実践専門課程」として認可

### (2) 設置する学校・学科の学生数の状況（平成 31 年 4 月 1 日現在）

（単位：人）

学校名	学科名	入学定員	収容定員数	現員数	摘要
東京医療専門学校	鍼灸マッサージ科 I 部	60	180	164	
	鍼灸科 I 部	30	150	80	
	鍼灸科 夜間特修	30	90	59	
	柔道整復科 I 部	60	180	117	
	柔道整復科 夜間特修	30	90	22	
	鍼灸マッサージ教員養成科	25	50	51	修業年限 2 年
呉竹鍼灸柔整専門学校	鍼灸マッサージ科 I 部	30	90	88	
	鍼灸マッサージ科 II 部	40	120	117	
	鍼灸科 I 部	30	90	74	
	柔道整復科 I 部	60	180	146	
	柔道整復科 II 部	30	150	68	
呉竹医療専門学校	鍼灸マッサージ科 I 部	60	180	177	
	鍼灸科 I 部	30	150	31	
	鍼灸科 II 部	30	90	67	
	柔道整復科 I 部	60	180	158	
	柔道整復科 II 部	30	90	48	

(3) 役員の概要 (令和元年6月21日現在)

定員数 理事 7名 監事 2名

理事長	坂本 歩	監事	櫻井 弘 (非常勤)
理事	坂本 美穂	監事	永山 浩 (非常勤)
理事	齊藤 秀樹		
理事	村上 哲二		
理事	下光 輝一 (非常勤)		
理事	松原 哲 (非常勤)		
理事	高橋 克典 (非常勤)		

(4) 評議員の概要

評議員の定数は15名であり、実数は14名である。

(5) 教職員の概要 (平成31年4月1日現在)

(単位：人)

区分		法人本部	東京医療 専門学校	呉竹鍼灸柔整 専門学校	呉竹医療 専門学校	呉竹メディカル クリニック	合計
教員	本務	8	27	21	23		79
	兼務	0					
職員	本務	3	13	5	8	18	47
	兼務	0	1	0	0	9	10

2 事業の概要

(1) 平成30年度の主な取り組み

各校において実習調整者を配し、1学年における外部医療関係施設の見学実習を開始した。昨年に引き続き臨床実習指導者講習会を主管し、指導者の養成を図るとともに、実習受入施設の拡充と次年度以降の臨床実施に向けた準備を行った。今後、各校における臨地実習の情報を集約・検証できる組織を検討し、学園全体として確実な臨床実習の実施と、実践的な臨床教育の在り方を研究することとした。

上海中医薬大学への短期留学は30周年を迎え、相互において記念式典を行うと共に、本年度より、正課カリキュラムとして上海中医薬大学院生の受入を行っている。

教職員研修として、ハラスメント・人事評価をテーマとして研修会を実施するほか、FD委員会より退学率の低減に向けた「初年度教育の位置づけ」について研究報告があった。

高等教育段階の教育費負担軽減新制度の機関申請に向けて、機関申請の準備を行った。

(2) 施設等の状況

① 現有施設設備の所在地等の説明

所在地	施設等	面積等	取得価額	簿価価額	摘要
新宿区四谷三栄町	校地	2,167.09 m <sup>2</sup>	2,049,306千円	2,049,306千円	
	校舎2棟	1,861.31 m <sup>2</sup>	799,119千円	275,913千円	
新宿区四谷坂町	校地	168.74 m <sup>2</sup>	495,920千円	495,920千円	
	校舎	255.90 m <sup>2</sup>	157,724千円	78,968千円	
新宿区四谷1丁目	校地	811.79 m <sup>2</sup>	949,350千円	949,350千円	
	校舎2棟	1,835.02 m <sup>2</sup>	439,234千円	305,573千円	
新宿区四谷2丁目	校地	166.12 m <sup>2</sup>	888,998千円	888,998千円	
	校舎	1,454.58 m <sup>2</sup>	699,183千円	653,262千円	
渋谷区代々木1丁目	校地	640.15 m <sup>2</sup>	3,603,672千円	3,603,672千円	
	校舎	2,663.18 m <sup>2</sup>	1,646,109千円	445,789千円	

港北区新横浜 2 丁目	校 地	661.00 m <sup>2</sup>	492,600 千円	492,600 千円	
	校 舎	5,427.70 m <sup>2</sup>	1,147,920 千円	614,751 千円	
大宮区桜木町	校 地	1,521.00 m <sup>2</sup>	1,031,500 千円	1,031,500 千円	
	校 舎	5,903.93 m <sup>2</sup>	2,904,204 千円	2,323,340 千円	

② 主な施設設備の取得又は処分状況

四谷校舎 3 号館リニューアル工事  
 四谷校舎 2 号館 3 階を学生ホールに改修するため、リニューアル工事  
 四谷校舎 1 号館の解体工事が完了し、新築工事を着工した。  
 代々木校舎図書室磁気式セキュリティーゲート設置  
 横浜校舎 1 階 3 階の空調設備・全熱交換器の更新工事  
 横浜校舎柔道場壁面防護マット設置工事  
 大宮校舎学生ホールウッドデッキ改修工事  
 大宮校舎非常用照明器具交換工事

(3) 財務の内容

1) 経年比較

① 貸借対照表

(単位:千円)

	平成 28 年度末	平成 29 年度末	本年度末
固定資産	17,655,813	18,050,885	18,169,406
流動資産	7,834,076	7,720,586	7,885,824
資産合計	25,489,889	25,771,471	26,055,231
固定負債	121,383	110,399	454,591
流動負債	720,829	675,262	766,062
負債合計	842,212	785,662	1,220,653
純資産合計	24,647,676	24,985,809	24,834,578

② 事業活動収支計算書

(単位:千円)

	平成 28 年度末	平成 29 年度末	本年度末
事業活動収入合計	2,524,139	2,389,053	2,212,549
事業活動支出合計	2,356,161	2,050,920	2,363,780
当年度消費収支超過額	-439,059	-183,658	-218,518
翌年度繰越消費収支差額	6,573,288	6,389,631	6,171,111

2) 主な財務比率比較

(単位:%)

比率名	算式	平成 28 年度末	平成 29 年度末	本年度末
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前収支}}{\text{事業活動収入}}$	6.6	14.1	-6.8
学生生徒納付金比率	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{経常収入}}$	82.5	89.6	90.0
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	53.0	51.9	54.1
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	11.0	12.2	-1.3
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	1,086.8	1,143.3	1,029.3
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債+純資産}}$	96.6	96.9	95.3